

輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）

※申請者名：西地食品(有)、品目：柑橘類加工品及び青果物
生姜加工品

1. 輸出における現状と課題

【現状】

農園開設以来、農業者として柑橘類の青果物を販売してきたが、昭和34年より柑橘類の手搾りを始め、6次産業化をスタートさせた。果汁の販売は毎年のように増加し自社農園だけでは原料が不足するようになったため、近隣農家約50軒から協力を頂くようになった。10年ほど前からは地元近隣地域にとどまらず、徳島県神山・佐那河内地区・海部郡地区・美馬市地区までの購入先が必要になってきている。生姜栽培は柑橘類の栽培期間の空いた時間を利用してできることから、自社農園にて平成21年より栽培を始めた。

原料取扱高としては、令和元年にゆず289t、すだち191t、ゆこう41tの521tであった。令和2年では、ゆず291t、すだち193t、ゆこう115tの599tであった。生姜は令和元年に21.4t、令和2年は21.3tの収穫があった。

令和元年度に於ける弊社の経営内容は、順調に推移し、最終利益として1,000万円近い利益が出るまでになっている。この延長線上にて、ドイツやマレーシア・ドバイ・中国へと海外展開に向けて販路拡大する計画である。柑橘類について海外からの注目度は大変高く、海外の展示会に出展以降、外国人による弊社の農場や加工工場の視察など、香り成分の多いゆず果皮についても関心は高い。ゆず果汁の輸出は、平成29年に0.4tであったが、平成30年では2.2t、令和元年では4.4tまで輸出量は伸びている。

また、生姜についても、健康食として親しまれる食材で、海外でも認知度が高いことがわかった。加工品においては、平成30年には中国上海へショウガシロップを500本輸出した。シロップはほとんどが飲食店への販売になっていて、お酒の割材のみならずソフトドリンクとして提供されている。健康的な食材は世界共通であり、生姜に関しても世界で通用する商材と考えている。

【課題】

1 品質管理を含めた生産体制の構築

- (1) 青果物、果汁の原材料の確保
- (2) 品質管理に厳しい海外取引に対応する国際的認証の取得

2 プロモーションツールの充実

コロナウイルスの蔓延により基本となった「オンライン商談」の内容充実と効率化

3 新商品の開発

青果物にはない付加価値商品の展開

2. 輸出事業計画の取組内容

1(1) 原材料の確保

- ・県内外生産者からの原料購入
- ・県外移住者を活用した耕作放棄地の発生防止サポート
- ・柑橘の豊作年・不作年に対応するためのせん定、灌水等の実施
- ・EU向け青果物が輸出可能な登録園地育成

(2) 海外取引に対応するための国際的認証の取得

- ・グローバルGAPの取得に向けた、農薬の在庫管理、農機具の管理、作業員の日報記録の徹底などの取組
- ・製造加工施設でのISO22000の取得に向けた、工場の修繕と整備、衛生管理の記録の徹底

2. 輸出事業計画の取組内容

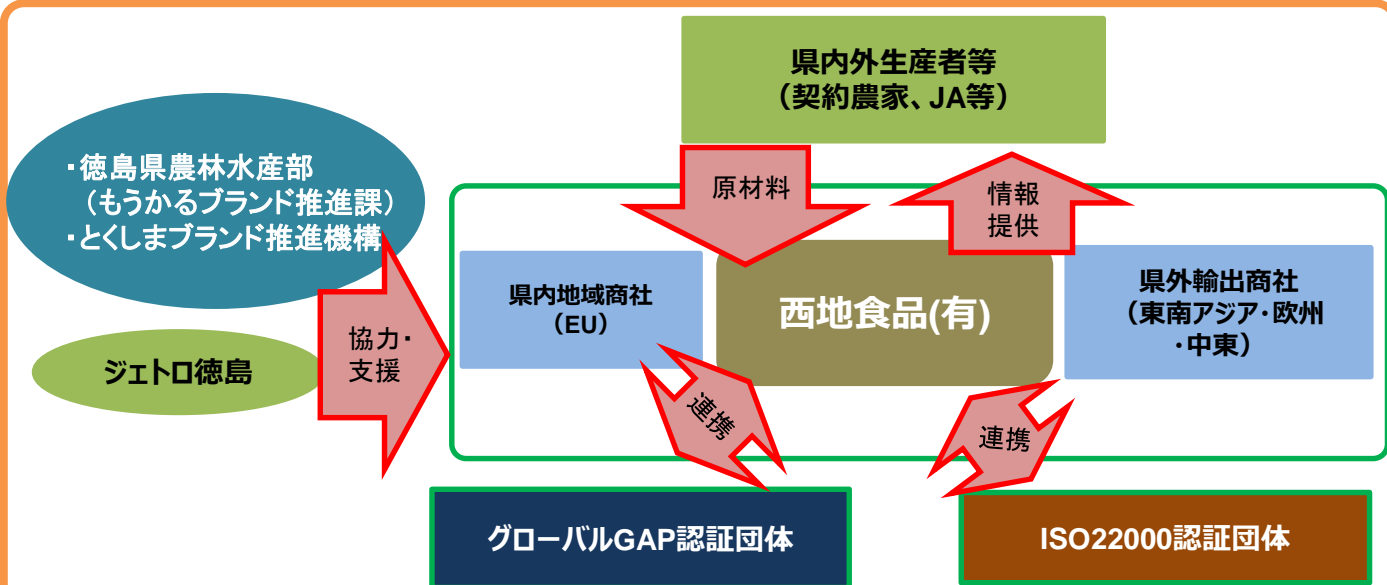
2 多言語字幕動画の作成

オンライン商談におけるよりわかりやすい情報伝達のため、動画を作成。現在は弊社全体の紹介動画のみだが、今後は商品のアピールやレシピ公開の為にYouTube動画を多数作成し、オンライン商談の内容充実と効率化を図る。

3 健康志向を汲み取ったアジア向け新商品の開発

葉膳茶でもあるチャシロップに付加価値を付ける為に生姜ベースに柑橘果汁を入れて試作。海外バイヤーの意見を取り入れ、令和3年度夏の完成を目指す。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

年度	輸出先	品名	数量(kg)	金額(円)
令和5年度	EU	ゆず果汁他	10,000	17,000,000
		柑橘&生姜加工品(シロップ等)	14,000	19,300,000
		すだち青果	2,000	3,000,000
	アジア	ゆず果汁他	10,000	17,000,000
		柑橘&生姜加工品(シロップ等)	14,000	19,300,000
	中東 (ドバイ)	ゆず果汁他	3,000	5,000,000
		柑橘&生姜加工品(シロップ等)	4,500	7,400,000
	合計			